

2025.2.11
(火・祝)

余市町立旭中学校で開催された「マルチスポーツ体験会」に ソフトテニス部の学生4名が講師として参加しました

公立中学校の休日部活動は、学校で行う部活動から自治体や団体などが運営する地域クラブでの活動へと段階的に移行が進められています。新たな活動スタイルへの転換により、子どもたちが地域人材やスキルを持つ指導者からの指導で技術向上が見込めるほか、新たなスポーツに挑戦する機会の増加も期待されています。

この体験会は、北海道教育委員会がスポーツ庁委託事業として主催し、現在余市町内の公立学校及び町内の総合型地域スポーツクラブでは通常体験できないスポーツである“ソフトテニス”と“卓球”に触れる機会として企画されました。ソフトテニスは本学学生が、卓球はアルテミス北海道が講師を務め、当日町内外から集まった小中学生15名の技術指導にあたりました。参加者からも「楽しかった、またやりたい」との感想が寄せられ、学生たちにとってもまたとない有意義な時間となったようです。

参加した学生たちからコメントが届きましたので紹介します。



(写真:二十一世紀総研提供)

わかばやし たくみ
歴史文化専攻3年 **若林 拓実さん**

教えることの難しさは重々承知の上でしたが、私の想像以上の大変さでした。今回の体験会は未経験の方が多く、どのように言語化して指導したら良いのか非常に悩みました。少し難しい顔をしている方も、非常に楽しそうにやってくださっている方もいたので、事前に講習会の流れは確認していたものの、やっていく中でも探り探りになってしまいました。

しかし、帰り際に男子小学生が「もっとテニスやりたかった!」と話してくれ、それだけで講師を務めて良かったと感じましたし、ソフトテニスに触れたことのない子どもに良さや楽しさを実感してもらえたという点で、スポーツを通じた地域貢献ができたのではないかと感じております。初めて触れるスポーツを通して少しでも「楽しい!」と感じてもらえる、そのきっかけ作りすることが私たち大学生にできる最大限の地域貢献ではないかと思っています。

私は高校の教員を目指しています。今回の参加者は小学生がメインでしたが、こうした「指導する」経験ができたのは本当に貴重でした。実際子どもたちの前に立つとどういった景色なのか、予定していたものを実際に通してみるとどうなるのか、ここの差異を実感できたのは本当に良い経験でした。また、当日の変更や人数に合わせた臨機応変な行動が必要であることも実感でき、改めて本当に貴重な経験だったと感じています。

のだ こうたろう
歴史文化専攻2年 **野田 航太郎さん**

ソフトテニスの面白さを伝える絶好の機会でした。一から指導案を作り、短い時間の中でソフトテニスの知識と技術を最大限に活かした体験会になったと思います。時間の管理などまだまだ至らない点はありましたが、良い経験になりました。

マルチスポーツの観点から、ソフトテニスだけではなく地域のニーズにあった部活動のあり方について理解ができましたし、生徒のニーズに合わせた部活動を作るべきだとも感じました。

私は現在、教職について学んでいることから、未経験者の指導法や部活動のあり方などを、現場を通じて学び、経験することができました。このような経験を大切に、活かすことができるよう勉強に励みたいです。

さかた ひろと
日本語・日本文化専攻3年 **坂田 大翔さん**

今回初めて講師という立場で参加させてもらいました。なにをしたらいいんだろうと少し緊張しましたが、参加してくれた方達がソフトテニスをしてみたいと来てくれたので僕も楽しい気持ちで参加することができました。小学生の子から大人の方まで幅広い年代の方達と交流することができて、ソフトテニスを楽しく体験してもらうサポートができたかなと思っています。テニスは硬式テニスの方がイメージが強いと思います。この体験会を通してソフトテニスを知ってもらって、またやってみたい!と思ってもらえたら嬉しいです。

僕は人と話すことが好きで、将来はこの好きを活かせる仕事をしたいなと思っています。この体験会是一日でたくさんの年代の方とコミュニケーションを取ることができ、また、初めてソフトテニスの講師を務めることができたので、とてもいい経験になったと感じています。

やまかわ ゆうと
経営学専攻2年 **山川 裕翔さん**

これまで元々ソフトテニスを知っている方への講師しか経験したことがなかったため、ソフトテニスの基本を知らない子達に短時間でどのようにやるのかを教える難しさを改めて実感しました。

ソフトテニスを知らない、やったことない子供達に新しい楽しさを知ってもらえて、実際にソフトテニスをもっとやりたいという声もあったので、少しは貢献できたのではと思っています。

現在母校で女子ソフトテニス部の臨時コーチを務めており、今回の経験はその際にも活かせると考えています。

— 地域連携センターより —

地域の活動に飛び込み、実際に指導を経験したり、多世代の方たちと協働・コミュニケーションを図ることは、学生たちが地域との関わり・繋がりを体感したり、自身の成長実感を得る機会となっております。皆さまにおかれましても、私たちと共に学生の成長を温かく見守っていただけますと幸いです。今回はスポーツ事業でしたが、本学は今後も地域共創の理念のもと、さまざまな連携事業を通じ地域活性化に貢献、そして「地域共創力」を身につけた人材の育成を目指し、邁進してまいります!

